

「誇りを持ち魅力あふれ、安心して信頼される歯科医師会」を目指す 歯科医師会の取り組み-1：プログラム作り

○筒井昭仁¹⁾、梶谷 彰²⁾、福沢厚志²⁾、吉川 容²⁾、住吉輝雄²⁾、梶原 浩²⁾
¹⁾福岡歯科大学口腔保健学講座、²⁾社団法人粕屋歯科医師会

要約：粕屋歯科医師会は会を取り巻く流動的な医療環境、社会環境のなかで10年後にどのような会であるべきかを検討することとし、会員の意見、加えて地域の関係者の声を取り入れて「誇りを持ち魅力あふれ、安心して信頼される歯科医師会」を目指す「粕屋歯科医師会21世紀プロジェクト」をまとめた。(索引用語：歯科医師会、安心、信頼)

口腔衛生会誌 60 (4), 2010

はじめに：

福岡市に隣接する1市7町を範囲とする粕屋歯科医師会(会員数95名)では、未入会者増や、歯科医療の需給アンバランスなどの問題を抱え、会員に不安感が漂っている。会は状況打破のために積極的な対応を行うこととし、60周年事業として10年後の魅力ある歯科医師会を見据えた構想を検討する将来構想特別委員会(以降、委員会と略)を設けた。

構想づくりの経緯：

委員会は2006年4月に発足し、初回は会長、役員、委員で、会および会を取り巻く環境等の過去、現在、将来について自由な意見交換を行った。その中から将来構想を検討する上で下記原則が確認された。

- 1) 「粕屋」に限定して考える：一般化しない
- 2) 会員のコンセンサスを得る：全員参加
- 3) 地域との関わりを重視する：専門家としての存在意義の確立
- 4) 本会の「理想の姿」を想定する：現状ベースの発想ではなくブレイクスルー
- 5) 「絵に描いた餅」にしない：答申後の実施、その評価へと継続する

2回目からは原則に則り、委員の個別の意見を尊重する趣旨からポストイット活用のグループワークを主に進めた。将来のあり方についての意見が出尽くすまで1つずつポストイットに書き出す作業を続け、これらをOPPAモデル¹⁾をベースに、模造紙上で集約、構造化する作業を行った(図)。

この中で、将来構想の枠組みができあがり、さらにそこに集約されたポストイット上の言葉から文章を紡ぎ出す作業を行った。その結果「誇りを持ち魅力あふれ、安心して信頼される歯科医師会」が最終目標として紡ぎ出され、それに向かう構造図を完成させた。さらに下部構造に集約されたカードを読み解き、3つの目的および達成課題と122項目の行動目標案をまとめた。

これらの行動目標案を個々の会員に返し、それぞれに優先順位を付けてもらった。また、地域事業案としてあがった58項目については、関係する1市7町の関係行政職員および養護教諭に優先順位付けを依頼した。

まとめ：

会員および関係者間でいくつかの項目において順位に差異がみられたため、会員による上位40項目に、地域関係者の高得点の12項目を加えて全52項目を重点事業として採用することとした。最終的にはこれらを会員事業、地域事業、機構改革の3課題の下に各々7つの行動目標(全21)として統合整理(図)し、全11回の会議を経て2007年11月に答申書「粕屋歯科医師会21世紀プロジェクト」をまとめた。

続報2では、進行中のプロセス評価を報告する。

文献：

- 1) 中村譲治他編：楽しくできる予防歯科、医歯薬出版、2009。

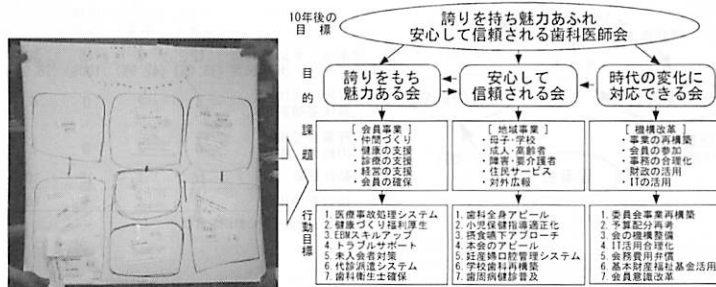


図 21世紀プロジェクト構造図